



新幹線統括本部より 3 件の提案を受ける！

東日本ユニオンは 1 月 26 日、新幹線統括本部より「2026 年度 新幹線総合車両センター業務計画について」「秋田新幹線車両センター業務の一部委託について」「新幹線総合車両センター業務の一部委託について」の提案を受けました。

● 2026 年度 新幹線総合車両センター業務計画について

新幹線総合車両センターでは、社員一人ひとりが「誇り (PRIDE)」と「誠実さ (INTEGRITY)」を原動力に、変革の主演として挑戦を続け、組織融合の深化を通じて新幹線の安全・安定輸送を支えてきた。2026 年度はグループ経営ビジョン「勇翔 2034」の目指す将来像に向けて、社員が仕事を通じて働きがいと自らの成長を実感し、安全を最優先として新幹線電車のメンテナンスを確実に実施していくため、グループ全体で連携して業務を遂行していく。

● 定期検査工事計画

- (1) 全般検査・台車検査 全般検査／計 422 両、台車検査／計 449 両、検査両数／合計 871 両
- (2) 交番検査（担当編成数） E 5 系 26 編成、E 926 形 1 編成、E 956 形 1 編成
(2026 年 7 月より E 5 系 24 編成へ変更)

● 主な改造工事計画

- (1) 小型状態監視記録装置搭載工事、(2) 地震対策排障器搭載工事、(3) 福島アプローチ線新設に伴う ATC-DB 改修工事、(4) 列車分離対策工事

● 車両計画 投入計画なし、廃車計画なし

● 業務等の見直し 台車検査試運転業務を新幹線総合車両センター全体で融合した体制に移行

● 実施期日 2026 年 4 月 1 日

● 秋田新幹線車両センター 業務の一部委託について

新幹線電車のメンテナンスを持続的に実施していくため、秋田新幹線車両センターの一部業務を委託する。

● 実施事項 以下の業務を部外委託する。

- (1) 交番検査における車軸深傷検査、(2) 全周ホロ給脂作業

● 実施期日 2026 年 7 月 1 日

● 新幹線総合車両センター 業務の一部委託について

新幹線電車のメンテナンスを持続的に実施していくため、新幹線総合車両センターの一部業務を委託する。

● 実施事項 車両検修科における以下の主変換装置検修業務を部外委託する。

- (1) 解装（在姿確認を含む）、(2) パワーユニット検修（リーク試験を含む）、(3) A K 接触器検修、(4) K 接触器動作確認、(5) 光ケーブル光量測定、(6) 無接点制御装置検修、(7) その他の検修（機器フタパッキン交換、コネクタピン交換）、(8) ギ装

● 実施期日 2026 年 11 月 1 日